

応募はコチラから

公共交通利用の促進を応援する！

「よりよい沖縄」のために ～公共交通活性化の取り組み～



① 「よりよい沖縄」のために国道58号でバスレーン延長

沖縄県は急激な自動車利用の拡大とバス利用者の減少により、極めて高い自動車依存型社会が形成され、交通渋滞が日常化しています。

また、高齢者による事故も増加し、超高齢社会へ突入した今、高齢者をはじめ、すべての人が利用しやすい公共交通である路線バスの役割がもっと重要になってきます。

加えて観光立県を掲げる沖縄では、美しい自然環境を守るためにもCO₂の削減が大きな課題です。

マイカードライバーの皆さんには、郷土の未来のためにご理解ご協力をお願いするとともに、公共交通の積極的な活用でバス停や駅まで歩く生活を実践してもらい、健康増進をぜひ実現してください。



国道58号の現状

第一通行帯が
バスレーンだよ！



2 沖縄の交通の現状と課題

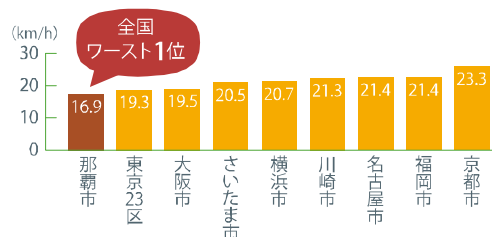
渋滞緩和



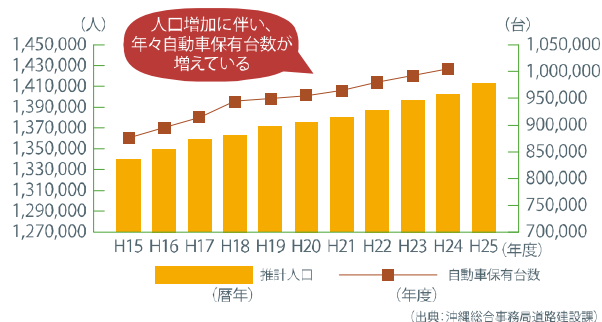
交通渋滞緩和のために 公共交通を利用しましょう

那覇市内の平日の混雑時平均旅行速度は政令指定都市と比べ低く、全国ワースト1位となっています。今後の人口や自動車保有台数の増加に対応するため、バスやモノレールを利用することは交通渋滞の緩和につながります。

平日混雑時平均旅行速度の比較(平成24年度)



沖縄県の推計人口と自動車保有台数の推移



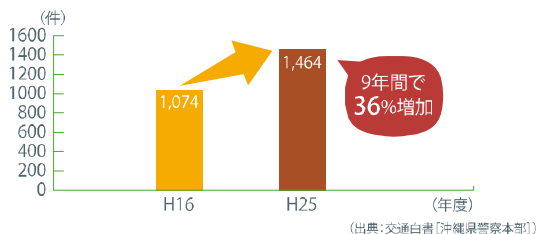
安心・安全



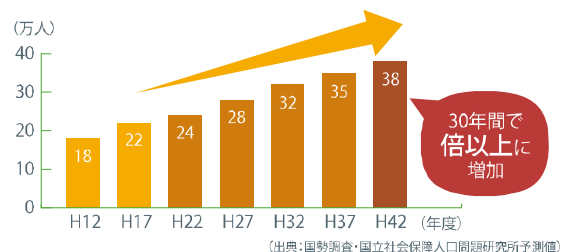
高齢者をはじめ、 県民が安心して移動できる 交通環境が必要です

沖縄県では、高齢者が起こす交通事故が増えています。また高齢者の人口は、今後も急激に増加していきます。バスやモノレールを利用し、高齢者が移動しやすい環境を整備する必要があります。

高齢者の事故件数



高齢者の人口



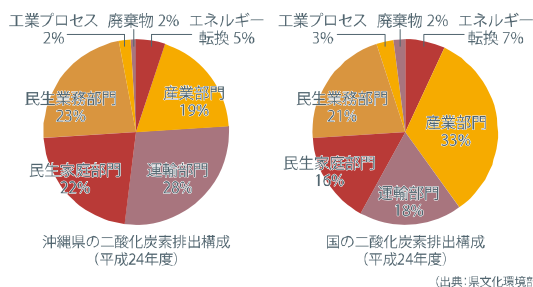
CO₂削減



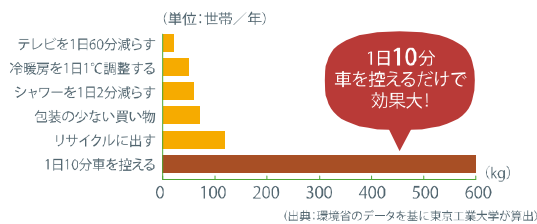
環境にやさしい 公共交通を利用しましょう

平成24年度の沖縄県の排出構成に占める運輸部門のCO₂排出量は28%で全国の18%に対して高い割合となっております。クルマの利用を控え、公共交通を中心にした生活に変更するとCO₂排出量の大幅な削減が期待できます。県民一人一人が可能な限り公共交通で移動し、環境にやさしい生活を送りましょう。

クルマなどのCO₂排出量



行動別による1年間あたりのCO₂削減量



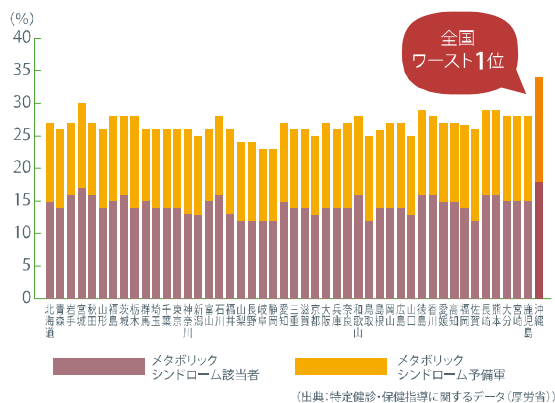
健康増進



健康のためにも バスやモノレールの 公共交通を利用しましょう

男性、女性ともにメタボリックシンドローム該当者・予備軍割合が全国ワースト1位となっています。健康のためにもクルマを控え、バスやモノレールの公共交通を利用し、バス停まで歩くように心がけましょう。

メタボリックシンドローム該当者・予備軍割合 (平成22年度)



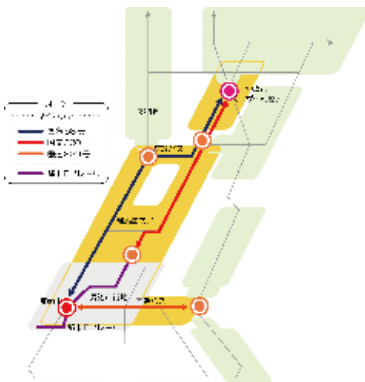
3 「よりよい沖縄」のための4つの主な取組み

① バスレーンの延長

- ・定時速達性の確保
- ・過度な自動車利用を抑制



基幹バスの実現には、
これらの取組みが必要。



③ IC乗車券システムの導入

- ・運賃精算の手間を軽減
- ・乗降時間の短縮



② バス停のグレードアップ

- ・上屋及びベンチの設置
- ・分かりやすい時刻表



④ ノンステップバスの導入

- ・すべての利用者の快適性向上
- ・乗降分離による停車時間の短縮

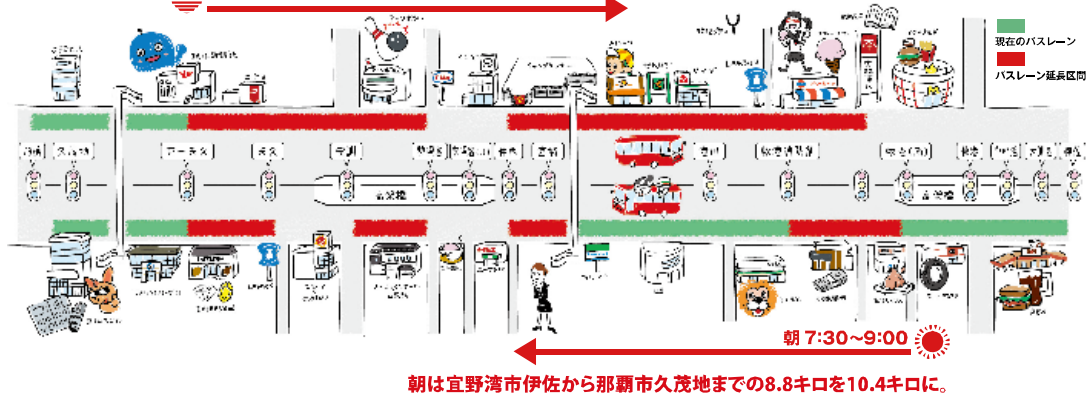


① バスレーンの延長

2月2日より バスレーン延長

夕方は那覇市旭橋から天久までの2.8キロを浦添市牧港までの7.4キロに延長します。

☀️ 夕方 17:30～19:00



朝は宜野湾市伊佐から那覇市久茂地までの8.8キロを10.4キロに。

② バス停のグレードアップ

▼今までのバス停



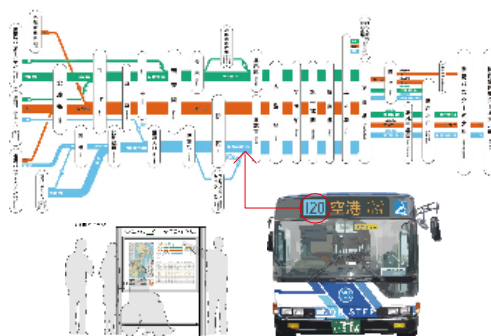
時刻表も小さく、炎天下や雨の中バスを待たなければなりません。



- 日光や雨をしのげる屋根付きのバス停を増やします。



- バスを系統別でカラーリングし、行き先をわかりやすくします。



- 誰でもわかりやすい大きな時刻表を設置します。



③ IC乗車券システムの導入

- ・平成26年10月にモノレールにて先行サービス開始
- ・平成27年4月からバスも含めた本格サービスを開始する予定



④ ノンステップバスの導入

- ・平成26年度までに沖縄県内に計120台のノンステップバスを導入
- ・平成28年度までに毎年40台導入し、合計200台を目指す

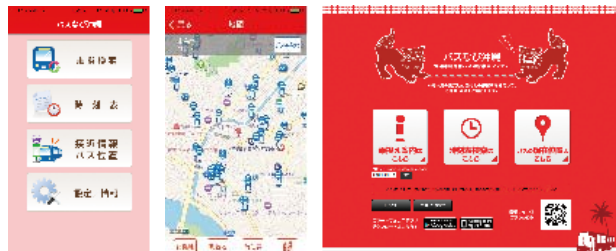


4 その他の取組み

■ バスの利用環境を改善しています

便利な「バスナビ沖縄」の導入

- ・沖縄本島バス4社共通のバスロケーションシステム
- ・バスの現在位置、全バス停の時刻表検索が可能
- ・平成25年4月サービス開始



■ 外国人観光客への対応

「ルートファインダー沖縄」の導入

- ・日本語、英語、中国語、韓国語に対応した公共交通機関の経路検索サイト
- ・平成25年4月サービス開始



わかりやすい行先電光表示器の導入



■ 「よりよい沖縄」のために貴社も法人黨員に参加しませんか？



法人黨員
募集中！



<https://www.watta-bus.com/>

沖縄県 交通政策課
TEL:098-866-2045

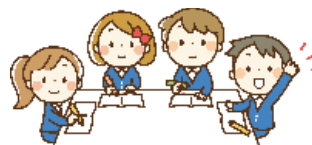
公共交通の出前授業に取り組んでいます

- ・「交通すどろく」や「スライド」を通してクルマと公共交通を賢く使う方法を考え、何故、公共交通機関が必要なのかをテーマに授業を実施しました。



浦添市立神森小学校での授業の様子（平成26年11月13日、同年11月20日の2回実施）

沖縄の将来を見据え
公共交通利用の
出前授業を開始



5 「よりよい沖縄」にするためのイメージ

公共交通の利用促進に取り組むことが「低炭素島しょ社会の実現」、
「健康長寿島の復活」や「人間優先のまちづくり」の実現に
つながると考えられます



6 クルマと公共交通を賢く使って得する事例

クルマと公共交通を賢く使うと、
Aさんの家族はこんなに変わりました！



今までの交通行動

公共交通を利用した結果



Aさん

家族の
送迎が多く、
いつも
カリカリ。



送迎が減ったおかげ
でゆとりができ、ニ
コニコ！



会社員の夫

クルマ
利用が多く太り
気味。健康診断で
運動するように
言われた。



公共交通を利用した
ので歩くようになり、
体重が5kgも減った！



おばあさん

週2回の
病院通いは、
クルマで通院
している。



視力が弱くなったので、
安全なバスで病院に行く
ようにしたら家族が安心！



高校生の娘

お母さん
に送迎して
もらっている。
送迎の時間と
調整が悩みの
タネ。



バス通学を始めたこ
とで、部活や友達と
の時間も自由に調整
できるようになった
ので楽しい！



応募はこちらから

公共交通利用の促進を応援する！